



# 環境文化ものがたり



環境文化とは、先人の方々から引き継いだ生活や文化を、環境問題から考え、環境について知り、環境を意識した生活を行えば小さなことでも環境を良い方向に変えていく力になります。これを次世代に伝えるために活動が続けることが重要です。

環境文化には様々な活動があります。その内容を具体的な活動プログラムとして展開した内容をものがたりと位置づけて、これからも様々な環境文化ものがたりを紹介していきます。

## 第3回 ワークショップ

### しめ縄づくり

2024年  
12月7日



わらを手に取り しめ縄づくりに挑戦

第3回環境学習ワークショップは、エコスタイルプラザで、講師・スタッフを含めて53名が「しめ縄づくり」を通してわら文化に親しみました。

まずは「プラスチックが登場するまで、稲わらは貴重な資源として大切にされ、生活に必要な道具は手作りされてきた」歴史を学んだ後、講師の我孫子清章さんの指導で、実際のわらを使ってのしめ縄づくりを体験しました。

親子共に興味津々で、わら6本で縄をなうコツをつかんだ後、14本のわら束を使って本番です。

みんな教え合いながら自分の手でしめ縄を作りだす喜びを体感しました。

「先人の知恵の素晴らしさに驚いた。」「しめ縄が初めて作れ、また上手にできた。」「持ち帰って家に飾りたい」などの感想が聞かれました。



我孫子さんによるしめ縄づくりの実演



完成したしめ縄を手に持って記念写真、達成感いっぱい



手を使いあきらめないでいいにやれば、わらが縄になります

## 第4回 ワークショップ

### 木簡作り

2025年  
1月25日

もっかん

人類は、大昔から木を使い、木から紙を生み出し、そこに文字や絵を描いてきました。そして、科学が進んだ今日でもその営みは変わりません。

ワークショップでは、森林の自然的価値に注目しながら、木簡や和紙・紙の文化的側面に焦点を当て、木簡や竹簡に字を書くことに挑戦しました。

滋賀書作家協会の4人の書家の指導のもとで、分担して木板に草津市民歌の歌詞や自分の名の表札を丁寧に書きました。

子どもたちは、「初めて板に書いた。集中して書けた。表札は玄関に飾りたい」と話していました。

皆で書いた市民歌は、子ども環境会議やエコスタイルプラザに展示しました。次の環境文化物語は、和紙づくりに挑戦です。



完成した市民歌を背景に各自が表札を手にして



木板に集中して筆を運ぶ

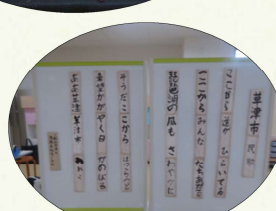
筆の運び方の手ほどきを受けて



背筋を伸ばして筆を立てて



何度も練習して完成した表札



分担して書いた市民歌の講評